

物品終売連絡票の運用一部改定について

13/04/04

改訂 20/07/01

2013年4月4日より運用しています物品終売連絡票を一部改定致します。(改定部分:赤字部分)

従来のものは削除理由に、自社手配原料やユーザー指定原料を選択するようになっておりましたが、現在は原料区分を設けて管理しておりますので、この部分の記載の必要はなくなっております。

現在の運用に即した形で、削除理由の部分をわかりやすいよう改訂させていただきます。

担当の皆様には、内容を熟読いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

下記及び別紙内容でよく分からない部分は、実際に運用を行う中で疑問点、改良点等をご指摘いただければ幸甚に存じます。

1. 物品終売連絡票の目的

物品終売連絡票を運用することで、①各マスタの削除、②終売物品の在庫管理、③終売情報の共有化を行う事を目的としております。

2. 物品終売連絡票の起票

起票者は主に営業担当者、開発担当者を想定しております。

終売情報を得られた方は迅速に起票してください。情報が大量にある場合は別途ご相談ください。

1) 荷動き予定なし

仕入品については、池田糖化グループ製品の使用製品の終売や取扱品の販売中止など今後の荷動き予定がない物品。

2) 終売

池田糖化グループ製品の販売終了やリニューアルによる終売、仕入品・取扱品については仕入先より販売中止による終売案内のあった物品。

代替品があれば代替品情報を記入してください。

3) その他

1)～2)に含まれないもの。

その他の場合は、備考欄に削除理由を記入してください。

例: 品質管理上今後使用しない

3. 物品終売連絡票の流れ

起票者は在庫管理担当者宛(工場事務担当者等)に送付(FAX)してください。在庫管理担当者は内容を確認の上、ITS 物品入力担当者へ送付(FAX)してください。

仕入単価があると他発注者に発注が出来ると誤認識与える可能性がある場合は早急に仕入単価更新票の論理削除依頼を速やかに実施してください。

4. ITS での処理

ITS では送付された物品終売連絡票をコンピュータに入力し、その内容をイントラに掲載し、在庫情報を在庫管理担当者に連絡します。

また、終売品が製品の場合はその製品に使用されている原料の情報を出力し、在庫管理担当者に原料のうちその製品にしか使用していないものの確認を行います。

その後、該当物品の在庫がなくなった時点で物品・仕入単価・販売単価マスタの削除を行います。

5. 運用開始時期

2020 年 7 月より

以上